

## 平成24年度実践的研究助成対象研究一覧

代表研究者		研究課題	助成額 (単位:万円) ( )内 累計	助成年度
1	安梅 勅江 (筑波大学大学院教授・他計11名)	多世代コミュニティ共創システム構築に向けた社会福祉法人の役割-住民主体の多世代交流プログラム実践と効果の検証- 〈新規〉	125	H24
2	数井 裕光 (大阪大学大学院講師・他計5名)	認知症患者の家族介護者と介護従事者のための連携システムを利用した教育的支援法の自治体での効果検証研究 〈新規〉	95	H24
3	木村 裕美 (佐賀大学准教授・他計4名)	認知症高齢者が表出するBPSD(行動心理学的徴候)に対する包括的ケアアプローチに関する研究-BPSD 軽減のための身体的、情緒的側面からのケアモデルの開発を目的とした実践的取り組み 〈新規〉	115	H24
4	田中英樹 (早稲田大学教授・他計6名)	社会的に孤立しがちなひとり暮らし高齢者等へのコミュニティソーシャルワークによる支援のあり方について 〈新規〉	127	H24
5	秋山美紀 (慶應義塾大学准教授・他計9名)	ヘルスサービス組織の危機管理に関するケースメソッド教材の開発 〈新規〉	112	H24
6	山本安奈 (オレンジホームケアクリニック医師・他計6名)	超高齢者における在宅療養の継続を規定する要因に関する研究-ライフサイクルの視点から- 〈新規〉	120	H24
7	佐原まち子 (国際医療福祉大学教授・他計11名)	災害復興地域におけるソーシャルワークの実践的研究-高齢社会の復興に向けたまちづくりの後方支援から- 〈継続〉	125 (250)	H24・23
8	高橋 龍太郎 (東京都健康長寿医療センター副所長・他計14名)	震災被災地における福祉サービス供給復興に向けた中期的広域支援システムの構築と運用 〈継続〉	150 (250)	H24・23
9	和気康太 (明治学院大学教授・他計7名)	被災地における高齢者ケアコミュニティの再生・創生に関する研究-東日本大震災で被災した東北地方のコミュニティを中心にして- 〈継続〉	122 (250)	H24・23
10	鳥越 隆士 (兵庫教育大学教授・他計3名)	高齢聴覚障害者のための自分史構築と語りを通じたメンタルヘルス援助 〈継続〉	60 (160)	H24・23
11	堀口 和子 (兵庫医療大学講師・他計6名)	中・重度要介護者の在宅療養継続に関する家族対処評価モデルの構築およびそのモデルの利用可能性 〈継続〉	106 (228)	H24・23
	合 計	11 件	1,257	

(役職は助成当時のもの、敬称略)